松枝小グランドデザイン２０２５

【児童の実態と学校課題】
①習慣化されたことや与えられたことは頑張れる。
②正義感はあるが、対人関係のトラブルがある。
③面倒なことや困難なことを避ける傾向があり、粘り強く取り組めない。
④体力の低下

【二町教委の基本方針】
様々なかかわりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成
・社会・家庭の期待に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
・個性や能力を発揮して活躍し、学び続ける、活力と連帯感のある人づくり

学校の教育目標

やさしく　かしこく　たくましく

＜めざす児童の姿＞　中学校へ進学しても松枝で学んだことを生かし、活躍できる児童
～「自分ごと」として、考え、学び、行動できる子～

自ら
・学習や運動に粘り強く取り組み、自己肯定感が持てる子

共に
・相手を思いやり、互いの良さを認め合い、自己有用感を高め合える子

創る
・学級や学校をよくするために自分たちで考え、自律して行動する子

探求する力
＜学習の「もととなる力」の育成＞
・知的好奇心・興味関心の育成
・主体的に問題解決に向かう体験
・基礎的・基本的な知識・技能の習得

生涯に渡ってたくましく生きるための「もととなる力」を育成

人と関わる力
＜社会性の「もととなる力」の育成＞
・人間関係を結ぶ実践力の育成
・協力して生産したり改善したりする喜びの体験
・社会のルール・マナーなど生活習慣の習得

＜総合的な学習の時間＞
3年「歴史」
4年「防災」
5年「福祉」
6年「未来」
ひまわり「環境・地域」

〇共生力（respect each other）：共感力、コミュ力
＜ 道 徳 ＞
「ありがとう」と「ごめんなさい」が素直に言える児童を育てる。
・「善」の連鎖、「ありがとう」の連鎖
・伝統・文化の継承　あいさつ　ボランティア

〇創造力（主体性）：問題解決力、プレゼン力
＜ 教 科 ＞
学習のおもしろさを楽しめる児童を育てる。
・自分の力で課題を見つけ解決する支援
・個々の考えをじっくり語らせる時間確保
・繰返し学習による基礎学力の定着
・ICTを活用した学習の推進

〇自立力（自律・責任）：自己決定力、危険回避力
＜ 健康・安全 ＞
自分の命・健康を自分で守ることのできる児童を育てる。
・危険を見立てる訓練の日常化
・家庭との連携による活動の習慣化
・外遊びの励行と目標を明確にした運動・チャレンジ活動

「自分ごと」として、考え、学ぶ場の工夫

【優れた体験的活動が豊かな感性を醸成する】 間接体験・疑似体験（便利・簡単）→ <u>直接体験（不便・面倒を楽しむ）</u>
〇「見る（視覚）」「聞く（聴覚）」「味わう（味覚）」「嗅ぐ（嗅覚）」「触れる（触覚）」を働かせ、物事を感覚的にとらえる体験（感性の醸成）
〇「知」を総合化し、課題発見能力や問題解決能力を高める。「なぜ、どうして」「どうしたらよいか」日頃学んだことを生かし、課題の解決を図る。

【学び合い、高め合える仲間】
集団を高める軸となる活動：松小3つのじまん
「きびしさ」鍛え合う
「あたたかさ」見つめ合う
「ひたむきさ」求め合う
集団の成立条件：仲間・目標・きまり・役割
＜めざす仲間の姿＞
「違った意見・考え」を受けとめ合える学習集団
集団性育成の三原則：正義の確立・組織の確立・文化の醸成

【教師主導から児童主体へ】 <u>◇みんなで正しく判断し、守れる集団なのか（教師主導）／みんなで決めたことは、みんなで守る（児童主体）</u>
〈トラブルを乗り越えるための視点〉
◆なまけか、失敗か　◆いじめか、ケンカか　◆努力して解決できることか、できないことか　◆事実をもって判断したか

【基盤となる指導】日常生活の基礎・基本にかかわる指導　～ 凡事徹底 ～
安心感のある生活　：<u>「きまり・約束は守る」「いじめを許さない」</u>　あいさつ・あったか言葉
清々しい環境　：<u>「学校（教室）は、自宅同様に大切にする」</u>　さしすせ掃除
互いを尊重する関係：<u>「全校の合い言葉『自分から』」「みんなに感謝『ありがとう』」</u>　ボランティア

【事務部の主体的参画】
＜事務部経営方針＞
児童にとって安心安全な学校環境づくりに努める。

やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ：**ティーチング**　／　**コーチング**：「君はどうしたら良いと思う？」「なぜそう思うの？」

【教師の構え】

<u>教科指導力こそ生徒指導力の基本</u>
学習の魅力を伝えられる教師は、生徒指導もできる。

【自己有用感・自己肯定感を高める】 <u>「ありがとう（有用感）」と「すごいね（肯定感）」の使い分け</u>

<u>自己肯定感：主に授業</u>
「すごいね」
好きなことを見付け、没頭させること
できるようにすること

<u>自己有用感：主に生活</u>
「ありがとう」
意気に感じさせること

「教師の意識改革」

【道徳】<u>「ありがとう」「ごめんなさい」</u>
・悪いところがあっても、悪い人間にならないのがいい人間
・児童にも感謝の気持ち「ありがとう」の姿勢
・同じ人として「ごめんなさい」と言える姿勢
・「情」と「理」の両輪の指導に心がける。
・一歩立ち止まって、「考えさせる」ゆとりを持つ。

【教科】<u>願いをもって、個の能力やよさを引き出す</u>
・教科の魅力を理解し、児童と共に学び楽しむ。
・児童の発表（話）は最後まで聞く。
・児童に任せきる活動・時間を確保する。
・授業は、時間を守って終わる。
面白くなければ、授業じゃない

【健康・安全】<u>児童の命を守り切る</u>
・「子供」は、体を動かすことが大好き。
・児童に危険を見立てさせる働きかけ。
・「大丈夫かな？」「ちょっと変だな？」と思ったらすぐ報告・対応。
・感染防止と人権教育の両輪指導

【指標】
・ことにおいて人としての正しさを問うことができる児童を育てられたか
・学習のおもしろさ、学ぶ楽しさを味わわせられたか
・学力を目標値に到達させられたか
・自分の命を自分で守ることができる児童を育てられたか
・夢中になって遊べる児童を育てられたか

中核の教師力 ＝ わかっていてくれる先生　　周辺の教師力（もち味）＝ おもしろい、きびしい、授業が上手、やさしい、まじめ、若い・・・

コミュニティ・スクール
学校運営協議会
「共に育てる」

【幼保小中連携】・中学校でも通用する指導であるか
・幼保の指導を引き継いだ指導であるか

家庭・PTAとの連携
「家庭の成長」＝「子供の成長」
・ＰＴＡｽﾛｰｶﾞﾝ「うちの子、よその子、松枝の子」
・学校の指導指針の明示と子育て指針の共有
・我が子の成長を共有できる取組と情報発信
・学校評価を活用した学校改善
・家庭学習の充実と連携

学校　　家庭・地域
「教える」⇔「見届ける」

地域・関係諸機関との連携
「地域と元気を共有しよう」
・地域の人材や団体の協力による校外学習等の充実
・安全教育・防災教育の連携強化
・地域行事への積極的な参加